

## スマホ所有の70代、7割強がスマホですぐに検索

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

## ◆ポイント◆

- ・スマホ所有のシニア、男女ともに7割強が疑問に思ったことすぐに調べるようになった
- ・スマホ所有のシニア、60・70代ともに7割強が疑問に思ったことすぐに調べるようになった

## 1. 調査結果：

## 1-1. スマホ所有によるシニアの生活変化（男女別）

## — 男女ともに7割強が疑問に思ったことすぐに調べるようになった —

「スマホの普及はシニアの生活にどのような変化をもたらしているか？」図1は、スマホを所有する全国の60～79歳を対象とした、スマホ所有による生活変化(11項目)についての調査結果を男女別に示したものである。最も多い回答は、「疑問に思ったことをすぐに調べるようになった」であり、7割強のシニアが該当している。2番目以降に「電車・車の渋滞情報によりストレスが減った」、「カメラ機能でメモ・板書を取る機会が増えた」、「地図アプリ等により道に迷わなくなった」と続く。「商品を簡単に見つけてネットで購入するようになった」との回答も約半数あった。また、男女での回答結果に大きな差異なかった。

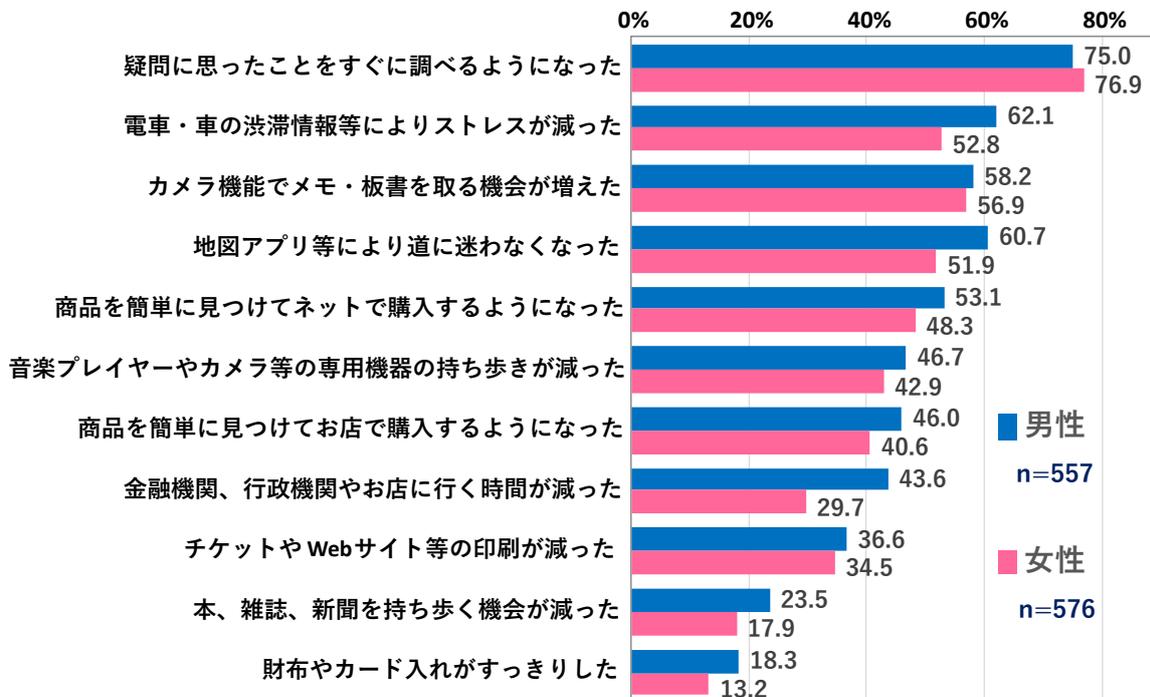


図1 スマホ所有による生活変化(MA) &lt;男性、女性&gt;

[調査対象：スマホを所有する全国の60～79歳]

## 1-2. スマホ所有によるシニアの生活変化（年代別）

## — 60・70代ともに7割強が疑問に思ったことすぐに調べるようになった —

図2は、スマホ所有による生活変化についての調査結果を年代別で示したものである。60代・70代ともに最も多い回答は、「疑問に思ったことをすぐに調べるようになった」であり、7割強のシニアが該当している。70代は、60代と比較してスマホが苦手とのイメージがあるが、実際にスマホを所有した後の利活用に関しては、現時点では10歳の年齢差はあまり大きな問題となっていないと思われる。

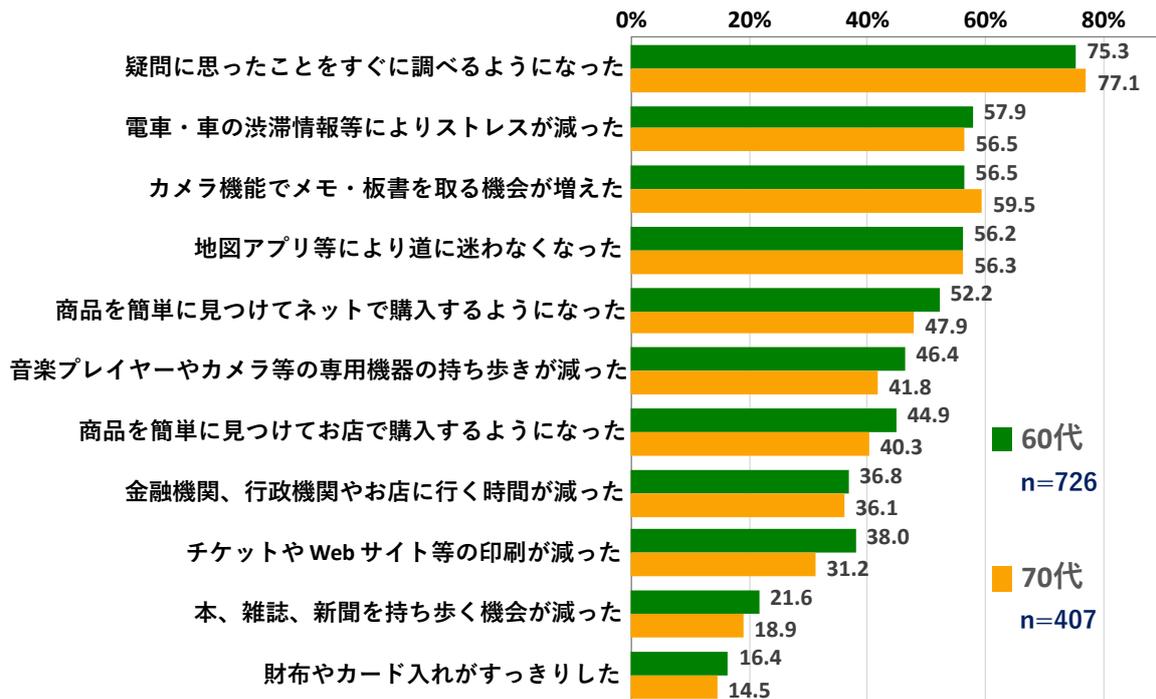


図2 スマホ所有による生活変化(MA) <60代、70代>  
[調査対象：スマホを所有する全国の60～79歳]

モバイル社会研究所では、「スマホ・ケータイ」の所有状況を経年で独自に調査した結果を『ケータイ社会白書』として下記のURLで公開しています。ぜひご活用下さい。

<<http://www.moba-ken.jp/whitepaper/wp19.html>>

## 2. 調査概要 —「2019年一般向けモバイル動向調査」—

調査方法	ウェブ調査（2019年1月実施）
調査エリア	全国
調査対象者	15～79歳の男女
標本抽出法	性別・年代(5歳刻み)・地域区分のセグメントで人口分布に比例して割り付け
有効回答数	6,926 <sup>※</sup>

※今回のレポートの分析対象は、スマホを所有する60～79歳の男女 1,133人

### ■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 [msri-inq-ml@nttdocomo.com](mailto:msri-inq-ml@nttdocomo.com)